

タイピックだより

5月号



2017.4.20 発行 Vol.53



川土手の葉桜も青みが増し、みずみずしい色へと変わってききました。五月は、新緑の季節です。新緑の季節は別名「若葉時」わかばどき」といい、この時期に若葉に降りそそぐ雨を「若葉雨」わかばあめ」といいます。雨のしずくが降りそそいだ若葉は雲が過ぎる

と日射しを反射してますます映えて見えますね。五月の時候の挨拶のひとつとして「立夏」があります。夏のはじまりを感じさせる言葉です。国立天文台平成二十九年暦要項によると、「立夏」は、五月五日です。まだまだ春と想っていました

季節が移り変わるの早いものですね。春先に生えた筍も、よきよきと高く伸びやかに育っています。筍の親竹の葉は、栄養を筍に回す為に、筍が生える少し前から黄ばんでくるのだそうです。自分の力を若い筍へ分け与えている竹のように、私たちも会社の若葉へ、持っている知識や力をそそぎたいものです。そして、新しい仲間が、会社や地域にしっかりと根を張り、生き生きと活躍してくれればと思います。



季節が移り変わるの早いものですね。春先に生えた筍も、よきよきと高く伸びやかに育っています。筍の親竹の葉は、栄養を筍に回す為に、筍が生える少し前から黄ばんでくるのだそうです。自分の力を若い筍へ分け与えている竹のように、私たちも会社の若葉へ、持っている知識や力をそそぎたいものです。そして、新しい仲間が、会社や地域にしっかりと根を張り、生き生きと活躍してくれればと思います。



タイピック祭 IN グラントワ



四月四日、五日、グラントワにて「タイピック祭」が開催されました。今年も大勢のお客様をお迎えして、会場は大変賑わいとなりました。展示会場では最近のお役立ち情報満載の様々な商品を大変興味深くご覧いただきました。セミナー会場でも今年は、福島県より川崎葉子様にお越しいただき大変貴重なお話をご講演いただき、参加された皆様にご好評をいただきました。また、地元企業各社にご協力いただき、景品コーナーも大変楽しく、賑やかになりました。これからもお客様のお役に立てる情報や商品をお届けできるよう、社員一同、益々頑張っております！



多数のご来場ありがとうございました!!

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

社長の

つぶやき



人間学を学ぶ月刊誌『致知』に東日本震災の時に南三陸町で被災された方々の避難場所として提供された『ホテル観洋』の記事を読み、少しの経済的援助をと思ひ、震災翌年三月に震災地を訪問しホテル観洋に宿泊した。

この時に、テレビや新聞報道などで見聞きし想像していた状況よりはるかに大きな震災地を見て、自分に来ることをと思ひ、弊社のパソコン教室の入会金の一割を復興が終わるまで寄付すると言ひし、震災地訪問を重ね今回で5度目となった。

今回は四月五日のタイプピック祭で講演していただいた川崎葉子さんにいわき駅まで出迎えていただき、震災時に一階部分が津波により突き抜けたホテルに宿泊し懇親を深めた。

翌日は国道6号を北上しながら福島原発の双葉町・浪江町を見たが計画的避難地区で建物はあるものの人のいない状況が続いていた。

松島・石巻を経て女川町到着。女川町は駅を中心とした商店街が完成し見違えるような姿になってお

り観光客の多いのに驚いた、ここで致知出版社の勉強会で知り合いとなった南三陸町の株式会社佐藤鉄工所 佐藤社長と待ち合わせ、ご案内をいただきながらさらに北上した。



女川商店街

佐藤社長に最初にご案内いただいたのは石巻市立大川小学校で、この小学校は震災時学校にいた生徒70名、先生10名の方が亡くなられ生き残ったのは4名の生徒さんだけと聞き涙が流れた。この小学校の裏は山となっており、なぜ早く逃げなかったのかと疑問に思ったのだが、大川小学校は海から4キロも離れておりハザードマップでは津波



大川小学校

災害避難場所に指定されているとのこと・・・！
校庭には慰霊碑が建てられており学校の近くの街で亡くなった方の名前が刻んであったが、ご家族6名の

名前が刻んであるものがあり多くの方が犠牲になった現実を見てただひたすらご冥福をお祈りした。

次に南三陸町の商店街『さんさん商店街』を訪問、元は志津川の奥地にあった市場を三月に移転したもので32店舗があり賑わっていた。

この写真屋さんでは震災前の写真や津波が押し寄せてくる写真が展示されており、何度も同じ写真を見ているが見るたびに心が痛む。写真屋さんの社長が「私の家はちょうどこの10メートル下にあった」と語られたが返事のしようがなかった。

商店街から42人が犠牲となられた『防災対策庁舎』は嵩上された土の谷間に見ることができ、ご冥福をお祈りした。



防災庁舎

わが社の ほっとニュース



コメダ珈琲店益田あけぼの店がオープンしました。

名古屋発祥のコメダ珈琲店。

コメダ珈琲店は名古屋の喫茶店にみられる特徴として、ご家庭の応接間やリビングのようにお客様の日常に溶け込むことにごこだわっています。

いつも同じ店で同じ味のコーヒーを楽しめる信頼感、ゆったりとしたテーブルやソファのある、いつでも来店しやすいお店であり続けることで、ご来店いただく皆様に、美味しいコーヒーと居心地の良さを徹底追求したくつろぎ空間をご提供いたします。

皆様のご来店、心よりお待ちしております。



致知の感想

特集 繁栄の法則

〇A事業部 システム課 山崎 鈴枝

「ビジネスマン」として大事なものは愛されることであり、そのためには、奉仕すること、松下山下幸之助さんの言葉には深い思いを感じました。泳げない松下氏が海に落ち、船に助けられた経験は自分の運が強いところさえ、その運の強さで自分の人生のいかなる困難も乗り切っていくと確信されたことあり、実際に富名声と事業の繁栄、そして多くの人々に人生の指針を示されました。如何なる不運や不幸にもくさしたり、やけにならず、そこに光を見出していけるポジティブシンキングができるようになるには、常に気持ちの切り替えができる心がけと共に情報を受け入れが必要なのではないかと思

います。本を読む、感銘できる言葉を書きとめるだけでなく、徳を高めるために自分ができうる事を精一杯全力でお客様や生徒さんのための仕事をしないといけないと思えました。徳なくして事業の繁栄はあり得ないところ様に愛されるタイプピックになるためにも日々の仕事に奉仕の心をもつて臨みたいと思えます。

特集 繁栄の法則 〇A事業部 杉内 崇

今回のテーマ「繁栄の法則」は、どんな事なのだろうとまず特集を読みました。「徳」と「運」と「愛」と「心」の3点が重要な事としてあげられていま

した。まず「徳」について、徳の無い人には財もたちまち逃げて行くことあります。そして「運」は松下山下幸之助さんの船から海へ落ちてしまった「不運」を松下山下幸之助さんは船に戻って来てくれた事、この海ではなかった事など、海に落ちたという「不運」を見るのではなく、助かった事の「幸運」を見ています。そして自分は運が良いと思う力を持っている事が書かれています。

最後の「愛されること」、「ビジネスマン」として大事な事は何かと問われた時に即答したとありました。そして愛されるには最も重要な事だと思えました。徳とは自分の基となるもの、運とは物事の考え方とらえ方、愛されるとは人が自分に対してどう思われるか、この3つが備わる人間になって行きたいなと思えました。

新入社員紹介



〇A事業部 システム課 井上 良輔

三月に入社いたしました井上良輔と申します。今年は何年であり、年初は回払いからスタートしました。そのご利益なのか、タイプピックのご縁がなることになりました。何年はネガティブな意味もありますが、役目を得る年、役年といつ面もあります。

タイプピックでの新しいことを貪欲に吸収しながら、また過去の経験と知識をフルに活かして業務に努めてまいります。

取引先のお客様、教室の生徒様、会社先輩方等、関係のあるすべての皆様からよい刺激とご指導を賜りながら、皆様から頼っていただけける人物となるように日々研鑽いたします。



〇A事業部 営業 寺戸 雄次

四月に入社いたしました寺戸雄次と申します。益田市出身、十一月三日生まれの26歳です。

三月までは広島で働いておりました。四月から長男が小学校入学ということもあり、生まれ育った益田市に帰ってまいりました。日々子どもの成長を感じる中で自分自身も一から頑張ると共に地元の役に立つことができたいと思っております。

以前の仕事とは全く異なる分野ですが、新しい職場、人、環境に慣れ楽しくやっていたらよい精進してまいります。たくさんの壁にぶち当たると思いますが、常に前向きに頑張りたいと思っています。これからよろしく願っています。

誕生日の決意

〇A事業部

吉松 一彦

今月20日に誕生日を迎え、ついに私も31歳となります。ついこの間20歳になったばかりのような気もしますが、気付けばいつの間にか30歳を超えてしまっており、光陰矢の如しとはまさにこのことだなと今更ながらに実感しております。タイプピックに入社して早三年目に入りましたが、一人前の営業マンとはとても言えない未熟なところばかりだと日々実感しております。年齢も31歳になったとはいえ、まだまだ大人になり切れていないことばかりではないかと自分自身を顧みて思いますが、変に不安がったり卑屈になつたりせず、一人の大人として堂々と31歳としての一年間を過ごしていきたいと思っております。そのためにも確実に一つ年を重ねたことを自覚し、仕事に向かう姿勢を今まで以上に真摯に臨み、上司諸先輩方のご指導を仰ぎながら日々精進していきたいと思っております。



ゆっくりやさしいパソコン教室

宇治教室 移転で再出発！
4月リニューアルオープン！

宇治教室
(京都)



長い春休みが終了！

教室移転のため、3月の間お休みをいただいていた宇治教室も、この4月にやっと新たな場所でのリニューアルオープンをする事ができました。

以前の場所から、車で5分とさほど離れた場所ではなく済み、今まで通われていた方にも同様に親しんでいただけそうです。

オープンの準備には、教室スタッフはもちろん、益田教室、浜田教室からも応援に駆けつけていただき、遠く離れた土地にいてもなお、タイピックの団結の

強さを改めて感じました。



狭くなったからこそ

以前の教室より、広さこそ少し狭くはなったものの、自動ドアに、化粧室つきのトイレと、全体的にキレイさと快適さを感じていただける教室になりました。

また、不思議なことに、狭くなり無駄な部分がなくなったおかげで、「広くなった？」と聞かれることもあり、窮屈さを感じずいただけます。ただけているのだと嬉しくなります。

変わらないものも

スリッパを置いて帰っていただけける下駄箱や、癒しのメダカの水槽は変わらず健在です。現在水槽もリフォーム中なので、メダカの引っ越しはもう少し先になります。



自動ドアで両手に荷物があっても安心。



受講スペースも明るく気持ちよく集中を。



メダカの水槽はただいまりフォーム中。



変わらずスリッパを置いて帰れます。



カップはボタンで取り出せるように！



休憩には円卓を囲んでの楽しい時間を♪

そういう変わらない部分もあるせいか、慣れ親しんできた生徒さんからも、「一週間もすると、馴染んできたねえ」とこれまたうれしくなる声をかけていただき、これからもこれまで以上に皆様に愛される教室づくりをしていければと思います。

(宇治教室 中山 貴志)



ゆっくり やさしい

パソコン教室



Typic

同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします